

加茂郡・可児郡町村会と中部地方整備局との意見交換会

平成24年8月17日、八百津町役場防災センターにて、岐阜県加茂郡・可児郡町村会と中部地方整備局との意見交換会が行われました。

「近年の自然災害発生の傾向とその対策」をテーマに、足立局長から大規模災害に対する備えの必要性について、五十嵐河川部長から中部地方整備局が保有する災害対策機械について情報提供を行いました。

町村会の8町村長・美濃加茂市長からは、昭和58年9月豪雨以降も平成22、23年と連続して豪雨災害が発生しており、地域事情を踏まえた治水・防災事業を促進するよう意見がありました。



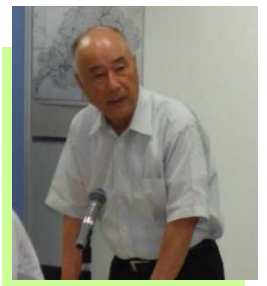
情報提供する足立中部地整局長
(写真左：五十嵐河川部長)



渡辺美濃加茂市長



赤塚八百津町長



安江東白川町長

S58災害と同等の出水でも被害が生じない町村会長の開会挨拶
のように新丸山ダムの早期着工完成を望む



今井白川町長

防災拠点である道の駅の機能向上に協力を



南山坂祝町長

濁水に弱い中濃のために、利水対策を向上してほしい

Ku-SAT 操作訓練

8月10日、新丸山ダム工事事務所と丸山ダム管理所と八百津町の合同で、Ku-SATの取り扱い技術向上を目的に、組立、操作の訓練を行いました。

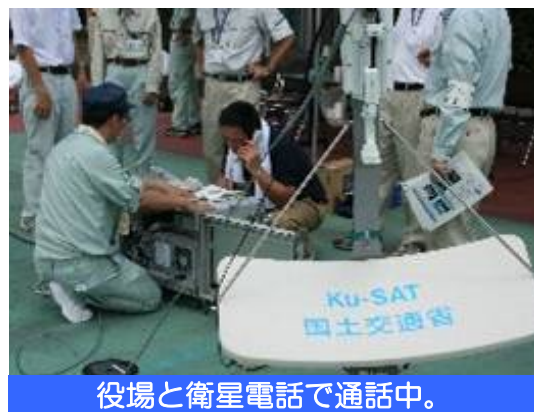
Ku-SATは、現地の画像等を人工衛星を経由して送信する小型の装置で、災害時、地上回線が利用できなくなった場合や車両の入れない災害現場等の様子を離れた場所へ送信するなど、災害時に有効な通信装置です。

訓練は、新丸山ダム工事事務所の駐車場で行われ、電気通信職員の指導を受けながら装置の組立を行い、衛星を補足するためのアンテナの向きや角度を調節して通信できる状態にした後、ビデオカメラの映像の送信や衛星電話で通話を行いました。

【Ku-SAT】：『Kensetsu Universal — Small Aperture Terminal』の略称



アンテナの向きを調節している様子



役場と衛星電話で通話中。

防災訓練

防災週間（8月30日～9月5日）に合わせ、9月4日に地震時の初動対応訓練を行いました。例年、事務所の地震防災訓練は、総務班、情報班、工務班、救護班の4つに別れて行っていますが、今回の訓練は、班編成にとらわれず、誰もが初動対応を行えるように、少ない人数でも支部を運営するという想定で実施しました。

訓練では、災害時優先される電話機の確認、非常食や飲料水の保管場所、災害時活躍する組み立て式自転車の組立方法、災害対策支部室の設置方法など、緊急時に必要な対応を細部に渡って改めて確認しました。

また、災害対策支部室では、家族及び本人の安否や所在の確認、庁舎点検、本部への報告に使用するシステムの操作方法や各種報告様式の内容説明が行われ、最後に賞味期限間近の五目ご飯や梅がゆなどの非常食を試食しました。



災害時に機動力となる、ノーパンク自転車の組立。



災害対策支部室の設置方法の説明



非常食の試食



救命講習

9月12日、可茂消防事務組合中消防署八百津出張所の方を講師に招き、新丸山ダム工事事務所と丸山ダム管理所合同で、救命講習を実施しました。講習には職員だけでなく、工事受注者の現場代理人も参加しました。内容は、胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、及びAED（自動体外式除細動器）による心肺蘇生法の講義と実習です。

救命方法について講師から「5年毎に救命率の向上を目指して救命方法を見直している。最新のガイドラインでは胸骨圧迫を最優先に実施する」との説明がありました。実習の参加者からは「以前に受講した時よりも、手順が簡素化されている」との声も上がっており、その方法が救命率の向上につながっているようです。

また、AEDの使用は、参加者の多くが初体験でしたが、音声にしたがってパッドを貼り付け、ボタンを押すだけであり、思いのほか簡単な操作であることが分かりました。

これからは、今回の講習で習得した救命講習修了証を持った職員がたくさんいるので、当事務所は頼もしい限りです。

可茂消防事務組合中消防署八百津出張所のみなさま、ユーモアあふれるご指導ありがとうございました。



講師による救命の講義



2人1組になって、胸骨圧迫とAEDの操作実習



工事受注者の現場代理人も実習参加



A : Automated（自動化された）、
E : External（体外式の）、
D : Defibrillator（除細動器）です。

災害対策用機械操作訓練

9月20日、大垣市のさい川さくら公園で災害対策用機械等の操作訓練が開催されました。災害発生時に出勤する照明車や排水ポンプ車、衛星通信車などの災害対策用機械の操作技術を習得するためのもので、岐阜県内の中部地方整備局職員及び岐阜県・愛知県内の自治体職員ら約60人が参加し、新丸山ダム工事事務所からは6名が参加しました。

災害対策機械を保有していない当事務所では、8月に丸山ダム管理所と合同で実施したKu-SATの操作訓練を除けば、災害対策用機械に接することがほとんどないため、一度に8台の機械を操作できる今回の訓練は貴重な経験となりました。特に、排水ポンプ車では、ホースをつないで実際に排水作業まで行うことができました。

なお、西濃地方に、9月17日から降り続いた大雨のため、大垣市と養老町から要請を受け、18・19日の2日間、木曽川上流河川事務所の照明車2台・排水ポンプ車3台を派遣して、地域支援を行いました。



重さ35kgの排水ポンプを水中に沈めます。左のオレンジ色はフロートです。

ホースが暴れないように、土のうで固定します。勢いよく排水中。



訓練対象機械

- ・対策本部車 拡幅型
- ・待機支援車
- ・排水ポンプ車
- ・照明車 照明の高さ20m
- ・照明車 照明の高さ10m
- ・衛星通信車
- ・無線中継伝送装置 (FPU)
- ・衛星小型画像伝送装置 (Ku-SAT)

工事ニュース



工事実施状況図

工事へのご理解とご協力をいただきますようお願いします

新人の新しくん

新丸山ダム工事事務所
工事一覧表
平成24年9月21日 現在

工事No	工事名	工種	工期	請負業者
1	平成24年度 新丸山ダム口杣沢水路工事	水路工事	平成24年 8月18日	北川工務(株)
			平成25年 2月28日	
2	平成24年度 新丸山ダム安渡沢水路工事	水路工事	平成24年 9月21日	青協建設(株)
			平成25年 3月15日	

【工事概要】 「平成24年度 新丸山ダム口杣沢水路工事」及び「平成24年度 新丸山ダム安渡沢水路工事」共に、岐阜県加茂郡八百津町八百津地先にて水路の付け替えを行います。